

中部産業遺産研究会 会報 第35号

Newsletter of The Chubu Society For The Industrial Heritage

・第106回定例研究会・見学会の概要

2010/09/26(日)に名古屋テレビ塔とNHK名古屋放送局の見学会を行います。

午前は名古屋テレビ塔。

集合時間; 10:25(いつもと開始時間が異なります) 集合場所;名古屋テレビ塔前、10:30開始。

見学内容;約1時間名古屋テレビ塔を見学します。名古屋テレビ塔(株)の大澤社長の案内です。

昼食は各自でお願いします。

午後はNHK名古屋放送局。

見学予定の方は、下記までご連絡をお願いします。事前にNHKへ予定人数を知らせるためです。
連絡先は天野武弘例会幹事、FAX 0533-85-1010 または 電子メール amano-ta07@pro.odn.ne.jpまで。

集合時間; 13:30(午後から参加の方はこの時間です) 集合場所;NHK名古屋放送局1階。

見学内容;1時間ほどマスターコントロールルームやスタジオを見学します。参加人数により2班に分かれて見学します。

・「ものづくり文化再発見!ウォーキング大会」の概要

瀬戸コース(COP10パートナーシップ事業)6.8km

開催日;2010/10/10(日)9:00~15:00

集合場所;パルティセと1階

コース;パルティセと(スタート) 窯神社 無風庵 法雲寺 深川神社(せと・あとりえ参道) 陶祖公園 宝泉寺 窯垣の小径ギャラリー・資料館 一里塚本業窯 マルチメディア伝承工芸館(経済産業省「近代化産業遺産群」認定) 瀬戸蔵ミュージアム(ゴール、無料入館の特典付き)

堀川コース(名古屋開府400年祭パートナーシップ事業)8.7km

開催日;2010/11/13(土)9:00~15:00

集合場所;宮の渡し公園

コース;宮の渡し公園(スタート、名古屋おもてなし武将隊登場) 白鳥庭園(貯木場) 名古屋国際会議場 中央卸売市場 合板会館(中日本合板工業組合) 松重閘門 岩井橋 納屋橋(ほとりすなごや納屋橋) 桜橋 瀬戸電停留所跡 名古屋城(ゴール)

・第4回パネル展の概要と講演会・第107回公開定例研究会の概要

別紙のチラシに詳細が掲載されています。

・第105回 定例研究会

司会(近藤 是)・記録(井土清司) 参加者:30名

場所:豊田市近代の産業とくらし発見館 学習室、開催日:2010/07/25(日)

13:00

新会員紹介

ありませんでした。

1. 研究報告、調査報告

[105-11-01]「産業遺産の見方・調べ方 のこぎり屋根」

岩井章真(20分)

資料:A4両面1枚

質疑10分

中部産業遺産研究会員を含む調査団を結成し、一宮市内を対象にして調査を行なっている。調査方法として 予備調査として地図、航空写真などを用いている。現地調査は、

棟数、外観（採光面の向き、傾斜角度、屋根の連続数、建築材料）など。データ化して Excel で整理。文字データのデータベース化する。デジタルマップ化する。近将来的には二次調査を予定している。

一宮市奥町地区においては、1963（昭和 38）年に 609 棟あったものが、2010（平成 22）年には 300 棟に減少しているなど、現状も交え映像を使用して報告があった。

[105-11-02] 「愛知県生まれの詩人・金子光晴と産業技術」 水野信太郎（40 分）

資料：A 3 両面 1 枚 映像使用 質疑 10 分

反戦詩人、金子光春本人が直接産業技術に直接関係してはいないが、彼の生家、養父母（清水組名古屋支店長）の家系など、彼の生い立ち等を彼の作品の紹介とともに説明があった。

彼がヨーロッパ旅行で滞在したベルギーの産業技術としてダイヤモンドをカットする方法、フロートガラス製造法が紹介された。また、彼を取り巻く人脈のなかに辰野金吾、佐立七次郎など当時を代表する建築家が出て、明治から昭和初期に活躍し、産業遺産的な建造物とかかわっている。

[105-11-03] 「東海道線木曾川駅 駅本屋及び附属建物」 野口英一朗（20 分）

資料：A 3 版両面 1 枚 映像使用 質疑 5 分

1886（明治 19）年 6 月 1 日開業の東海道線木曾川駅、駅本屋及び附属建物について、2008（平成 20）年 5 月の解体前に行なった調査について報告があった。

開業当初は貨物の取り扱いが主であったが、旅客の扱いの増加とともに、増改築が行なわれた様子等について、トラス等は正式な形式を用い、当時の標準的な駅舎である。同形駅舎として最後の解体であり、現存は無いと報告があった。

14:50～15:00 休憩 10 分

[105-11-04] 「鉄道車輛の制御システム「いま・むかし」」 橋本英樹（30 分）

資料：なし 映像使用 質疑 5 分

鉄道車両ブレーキについて、電動カム方式 自動空気ブレーキ 電気空気併用ブレーキ 電力回生ブレーキと、技術発展の歴史などの説明があった。

なお、現在の新幹線に使われている電力回生ブレーキではブレーキシュー（パッド）を使わず、停止位置 10m 手前で止めて、残りは手動で操作すると説明があった。

（注）電車のブレーキについては、産業遺産研究第 9 及び第 15 号に掲載の白井 昭会員の論文を参照していただきたい。

2. その他の諸報告、保存問題など

[105-21-01] 「台湾訪問：産業遺産の保存と再利用」 大橋公雄（30 分）

資料：なし 映像使用

2009（平成 21）年 9 月 30 日～10 月 6 日の訪問について、映像を使用して説明があった。中原大学、台北芸術大学、松山鉄道修理工場など 10 数か所と、日本統治時代の建物等も多く残っているなど説明があった。

なお、今年も 8 月 16 日～20 日の間、産業考古学会の研修旅行が計画されていると、補足があった。

[105-21-02] 「産業遺産の見方・調べ方について」 天野武弘（5 分）

資料：A 4 片面 1 枚

現在までに、12 回で 18 テーマについて報告された。将来は 1 冊にまとめたい。今後は、各産業分野について報告をしていただきたいと、要請があった。

[105-21-03] 「鉄道パンタグラフのすり板について」 山田 貢（5 分）

資料：A 4 両面 1 枚（パンタグラフすり板と架線実物を回覧）

1921（大正 10）年の国産パンタグラフすり板第 1 号は銅板製から最新の「高強度 C/C 複合材製すり板（2008 年 9 月）までの開発の歴史と、電気抵抗の減少、アーク発生の抑制、電波雑音や摺動音の低減等への改良経過について説明があった。

3. 研究誌、会報(研究会ニュースレター)

- [105-31-01] 研究誌『産業遺産研究第 17 号』について 浅野伸一(2 分)
第 17 号については、天野武弘副会長に編集をお願いし 5 月に発行しました。
- [105-31-02] 会報ニュースレター 電子メール版の原稿募集 橋本英樹(1 分)
メール配信希望で届かない方は、橋本幹事へ連絡を。また、掲載原稿について依頼があった。
- [105-31-03] 会報第 34 号発行 野口英一郎(1 分)
本日配布された。

4. シンポジウム

- [105-41-01] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第 29 回
「私のまわりの産業遺産の記録・保存・活用例」(仮題) 山田 貢・天野武弘(10 分)
従来のシンポは負担が大きかったので、原点に戻り、会員のためのシンポにしたい。会員の身近な事例について報告していただき、事例集とし会員相互の意見交換を行ないたい。なお、報告に当たっては、本日配布した「産業遺産調査票」を参考にしていきたいと、説明があった。
また、30 回シンポに向け、保存と活用について検討を予定しているなど説明があった。

16:40~

5. 見学会、その他の催し物

- [105-51-01] 第 106 回定例研究会・見学会「名古屋テレビ塔・NHK」予定 天野武弘(5 分)
概要は本会報の冒頭に掲載しています。
- [105-51-02] 「ものづくり文化再発見！ウォーキング大会」 寺沢安正・柳田哲雄(2 分)
柳田哲雄会員からコースなどの概要説明があり、瀬戸コースの説明者に永田 宏副会長と野口英一郎会員が依頼された。**概要は本会報の冒頭に掲載しています。**
- [105-51-03] 「2010(平成 22)年度・名東生涯学習講座について」 寺沢安正(2 分)
名東区 40 周年・生涯学習センター 10 周年ということで講座を開催した。来年度についても開催予定であるなど報告があった。今年度の講座の概要は次の通りであった。
- ・第 1 回 2010/05/26(金) 西尾典佑「城山三郎の中部財界人に見る名古屋のモノづくり」
 - ・第 2 回 2010/06/15(金) 寺沢安正「合板・楽器・車両製造など名古屋の木材産業」
 - ・第 3 回 2010/06/22(金) 寺沢安正「常滑焼の変遷」
 - ・第 4 回 2010/07/06(金) 大橋公雄「瀬戸焼が果たした役割と産業遺産」
 - ・第 5 回 2010/07/27(金) 浅田員由「愛知のやきもの古窯めぐり」

6. 文献紹介、資料紹介 ()内は紹介者

- [105-61-01] 「industrie-kultur Länderschwerpunkt:Japan(日本)」 (事務局)
- [105-62-01] 「訪日外国人旅行者向け 「観光品質基準(日本旅館編)」の策定に関する調査研究」
財団法人中部産業・地域活性化センター (事務局)

7. 出版広報事業

- [105-71-01] インターネット (永井唐九郎)
- [105-71-02] 中部産業遺産研究会の本 (藤田秀紀)

8. 委員会、役員会、研究分科会

- [105-81-01] 幹事会・役員会
- ・第 1 回幹事会 2010/07/25(日) 11:45~12:30 豊田市近代の産業とくらし発見館 学習室
「2010(平成 22)年度・名東生涯学習講座について」
「産業遺産ウォーキング大会の現状について」
「パネル展の現状について」
「日本の技術史をみる眼の現状について」
「産業遺産研究の現状について」
「例会の会場と日程について」
「会報について」

「その他」来年7月でアナログ放送が終わり名古屋テレビ塔から電波が出なくなるので、アナログ放送の終了後に調査を行いたい。

[105-81-02] シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第29回 実行委員会

- ・第2回 2010/07/25(日) 10:00~11:45 豊田市近代の産業とくらし発見館 学習室
- ・第3回 2010/09/26(日) 15:00~17:00 名古屋事務所(予定)

[105-81-03] パネル展「名古屋のまちづくりを支えた堀川・新堀川」勉強会

- ・第5回 2010/08/08(日) 14:00~16:30 名古屋都市センター13F
- ・第6回 2010/10/03(日) 14:00~16:30 名古屋都市センター13F(予定)
- ・第7回 2010/11/07(日) 14:00~16:30 名古屋都市センター13F(予定)

[105-81-04] 研究誌『産業遺産研究第18号』編集委員会

浅野伸一(5分)

編集委員会を開催し、次回に報告したい。

9. 総務・事務局関係

[105-91-01] 研究会スケジュール、関連団体スケジュール、他

野口英一朗(5分)

- ・産業考古学会 30周年記念行事台湾研修旅行 2010/08/16(月)~20(金)
- ・日本機械学会年次大会 2010/09/05(日)~09(木) 名古屋工業大学
- ・第106回定例研究会・見学会 2010/09/26(日) 10:30~ 名古屋テレビ塔・NHK
- ・産業考古学会全国大会 2010/10/09(土)~10(日) 江別市
- ・第4回ものづくり文化再発見!ウォーキング大会 2010/10/10(日) 瀬戸コース
- ・第5回ものづくり文化再発見!ウォーキング大会 2010/11/13(土) 堀川コース
- ・第4回パネル展 2010/11/23(火)~12/05(日) 名古屋都市センター
- ・第107回講演・公開定例研究会 2010/11/28(日) 13:00~ 名古屋都市センター
- ・第108回定例研究会 2011/01/30(日) 13:00~ 名古屋大学 **変更しています**
- ・第109回定例研究会・見学会 2011/03/27(日) 13:00~ 見学先未定
- ・第19回総会・第110回定例研究会 2011/05/29(日) 13:00~ 会場未定 **一週間遅くしました**

[105-91-02] 会員異動()内は入会日・退会日

入会: 鈴木博之(2010/04/01) 朝井佐智子(2010/07/16)

退会: 飯田喜四郎(2010/04/01)(注) 明治村館長の交代にともなうもの。

17:10 終了

会報編集委員会より

編集委員の募集や、ご意見やご希望などお願いします。

産業遺産に関する情報・短信・文献紹介などお気軽にご投稿下さい。投稿は郵送または電子メールでお送り下さい。写真には必ず撮影者と撮影日時を記載したメモを貼り付けて下さい。原稿はテキスト形式で作成していただくと編集作業がしやすいので、なるべくテキスト形式でお願いします。

原稿送付先: 野口英一朗 noguchi.@d5.dion.ne.jp (アドレスにご注意下さい。@の前にドット。)

電子メールをお持ち会員で、橋本幹事から電子メールニュースが配信されていない会員は、メールにて、橋本幹事(hidekih@wine.plala.or.jp)までご連絡ください。すでに着信確認メールを出されている方は、再度送信いただく必要はありません。

中部産業遺産研究会会報 第35号

Newsletter of The Chubu Society For The Industrial Heritage Vol.35 2010-09

発行: 中部産業遺産研究会

発行人: 佐々木享

発行日: 2010年9月1日

編集委員: 中住健二郎・野口英一朗・橋本英樹・伴公太

事務局: 〒453-0014 名古屋市中村区則武2-34-12 シェルコ-ト則武502 野口英一朗気付

中部産業遺産研究会のホームページは、現在移動中ですので今暫くお待ちください。

掲載記事の無断転載を禁じます。

Copyright 2008 The Chubu Society For The Industrial Heritage, All rights reserved.